



令和元年11月1日現在	
総世帯数	1,421世帯
総人口	2,589人
男	1,227人
女	1,362人

### 町会自治の偏りと現状

中条東第一町会  
西村 好寛

人口減少、少子高齢化による運営上の課題として、町会加入者、加入率が下がって役員負担が重く、現状敬遠される存在にあります。町会の役員の仕事は行政との連絡役、閲覧板や名簿作成、活動記録や会計報告等、多岐にわたります。活動は平日の日中が多く退職世代が担うことになりませんが、年金に頼れない働かなくてはならない人も多し中、活動ができる余力がある人がどのくらいいるのかと考えると、厳しい状況です。65歳定年が増えて70歳まで働く世の中がすぐそこまで来ている。

又、若い世代のマンション入居者が増える事でオートロックによる出入りが制限される事で勧誘も難しく、一層若者が参加しにくいという状況も見受けられます。町内会行事に関しては若い世代の方

が極めて少ない、又マンション住まいだと地元の方が少なく行事等に関して無関心の方が多いた方が現状ではないでしょうか。新たに人間関係を築く事を面倒に思うのが正直なところかなと思います。

加入率の低下や役員のみならず手不足は各町会に共通する悩みであり、その一方で高齢者の見守りや災害時の対応等は町内会に期待され、役割は大きく本体は弱体化が進むが期待は残ります。又、世帯の加入単位もかつては一世帯夫婦子供と祖父母と沢山の家族構成でしたが、今は独居老人やひとり親家庭などの世帯が町内会の助けを必要としたり、求められる状況にあります。世帯の変化に対応した働き方をしなければ組織の維持も難しいので、行事の見直しや広域化、NPOや市民団体と連携していく事も重要になると思いますし、やってみる事で意外と達成感や楽しくできるなど何かあります。みんなが住みやすい街が一番。

### 防災意識と助け合い

長沢町  
竹内 弘人

今年も各地で台風や大雨による災害が発生し、千曲川水系では堤防決壊による大規模な河川氾濫が起きました。

第二地区では目立った被害の報告は聞こえてはきませんが、いつ想定外の災害が起こったとしても少しもおかしくない状況だと思っています。

改めて松本市のハザードマップを確認してみました。避難所に指定されている第二地区公民館は薄川沿いにあり、大きな洪水が発生した際には慎重な運用が必要になる

るかもしれません。災害というところでも地震に対する関心が高くなりがちですが、それだけでなく洪水や土砂災害など、自分が住んでいる地域の状況を考え、日ごろの備えを進めていきたいと思っています。

先日行われた第二地区の防災訓練に参加しました。各町会から参加された方々が、真剣に訓練に取り組む姿勢を目の当たりにして、私自身も防災に対する思いを新たにするとともに、よく言われることではありますが普段からの隣近所のお付き合いが、いざという時の助け合いにつながるのだと改めて感じました。

助け合いの基本は、「できる人が、できる時に、できることをする。」と言われています。現地でのボランティア活動ができなくとも、募金をしたり物資を提供することで、被災地のことを忘れないということも大切です。

何かあった時に一人ですることは限られています。それは頭では分かっていますが、実際の現場に遭遇したことがほとんどない現状では、想定し訓練していくしかありません。その時のためと言ったら大袈裟ですが、これからでもできる限り地域のイベントには参加していきたいと思っています。

### 笑って、泣いて…

### 消費生活啓発落語会が開催されました



10月20日(日)、第二地区公民館に於いて、立川平林さん(昨年、真打ちに昇進)を招いて、公民館、福祉ひろば共催で落語会が開催されました。

第一部では、消費者被害・特殊詐欺の注意啓発落語が披露され、「母さん、俺だよ。オレオレ」や、「市役所のほうから来ました」等、最近よく耳にするフレーズを交えながら、注意点を聞くことができました。中でも印象に残ったのが、オレオレ詐欺から身を守る一言「合言葉は？」です。たとえば、家族内で決めていなくても、騙そうとして電話してきた人は、この一言を言われると、一方的に電話を切ってしまうそうです。みなさんもぜひ、覚えておいてください。

第二部では、古典落語「勘定板」が披露されました。会場全体が笑いに包まれ、あまりの可笑しさに涙する人も。

楽しいひと時はあっという間に過ぎました。みなさん、うまい話や、お金の話の電話には十分注意しましょう。



